

2023年度事業報告書

I 法人の概要

1 学校法人の沿革

昭和40年12月28日	学校法人第二静岡学園寄附行為認可・静岡学園高等学校設置認可
昭和41年 4月 1日	静岡学園高等学校開校、普通科・商業科開設
昭和46年 4月 1日	静岡学園高等学校理数科開設
昭和53年 4月 1日	静岡学園中学校開校
昭和63年 4月 1日	静岡学園短期大学開学、経営情報科・英語科開設
平成 6年 4月 1日	静岡産業大学開学、経営学部経営環境学科開設
平成 7年 9月 5日	静岡学園高等学校商業科廃止認可
平成 8年 4月 1日	静岡学園短期大学英語科を英語コミュニケーション学科に名称変更
平成10年 4月 1日	静岡産業大学国際情報学部国際情報学科開設
平成11年12月22日	静岡学園短期大学廃止認可
平成13年 4月 1日	静岡産業大学経営学部情報マネジメント学科開設
平成17年 4月 1日	静岡産業大学経営学部経営学科・スポーツ経営学科開設 情報学部情報デザイン学科・国際情報学科開設
平成21年 6月29日	静岡産業大学国際情報学部国際情報学科廃止届出 経営学部経営環境学科・情報マネジメント学科廃止届出
平成23年 4月 1日	学校法人新静岡学園に法人名変更 静岡学園高等学校教養科学科開設
平成24年 4月 1日	静岡産業大学経営学部心理経営学科開設
平成26年 3月28日	静岡学園高等学校普通科・理数科廃止認可
平成29年10月12日	学校法人新静岡学園寄附行為変更認可(収益事業)
令和 3年 4月 1日	静岡産業大学スポーツ科学部スポーツ科学科開設
令和 5年 7月 3日	静岡産業大学情報学部情報デザイン学科・国際情報学科廃止届出

2 設置する学校、学部、学科等

静岡産業大学 経営学部 (静岡県磐田市大原1572番地1) (静岡県藤枝市駿河台4丁目1番1号)	経営学科 スポーツ経営学科(磐田) 心理経営学科
情報学部 (静岡県藤枝市駿河台4丁目1番1号)	情報デザイン学科 国際情報学科
スポーツ科学部 (静岡県磐田市大原1572番地1)	スポーツ科学科

静岡学園高等学校 全日課程 教養科学科
(静岡県静岡市葵区東鷹匠町25番地)

静岡学園中学校
(静岡県静岡市葵区東鷹匠町25番地)

(2023年5月1日現在)

3 各学校等の入学定員、現員数

(単位:人)

学校名	学部等名	学科名	入学定員	3年次 編入学定員	入学者数	収容定員	現員
静岡産業大学	経営学部	経営学科	280	10	231	980	1,496
		スポーツ経営学科	—	—		200	
		心理経営学科	70	—		360	
	情報学部	情報デザイン学科	—	—	—	—	—
		国際情報学科	—	—	—	—	—
	スポーツ科学部	スポーツ科学科	120	—	155	360	375
合 計			470	10	386	1,900	1,871
静岡学園高等学校	全日課程	教養科学科	360		369	1,080	1,170
静岡学園中学校			90		93	270	286
法 人 合 計			920	10	848	3,250	3,327

(2023年5月1日現在)

4 役員、評議員に関する事項

【理事】

理事長	三枝幸文
理事	大坪 檀
理事	堀川知廣
理事	鈴木啓之
理事	澤野岳志
理事	鳴嶋吉彦
理事	高橋和子
理事	佐野典秀
理事	戸上常司
理事	松浦康男
理事	林 範夫
理事	丹羽由一
理事	岩崎清悟
理事	鷺崎早雄

【監事】

監事	鈴木善彦
監事	岡田修二

【評議員】

評議員	高木昭三
評議員	江崎晴城
評議員	杉村征郎
	他 26人

(2024年3月31日現在)

【役員賠償責任保険契約】

保険契約者:日本私立大学協会(団体契約)

(引受保険会社:東京海上日動(幹事)、三井住友海上、明治安田損害保険)

5 教職員に関する事項

(単位:人)

部門	区分	教員	職員	内訳			
				本務教員	本務職員	兼務教員	兼務職員
経営学部		105	60	46	49	59	11
情報学部							
スポーツ科学部		26	13	12	11	14	2
静岡学園高等学校		97	19	67	11	30	8
静岡学園中学校		25	1	18	1	7	
法人			3		2		1
計		253	96	143	74	110	22

(2023年5月1日現在)

II 事業の概要

[主な教育・研究の概要]

1 法人

学生、生徒に優れた教育環境を提供し、社会の発展に寄与する有為な人材に育成するため、本学園では、学校経営の重点課題として「公器性の高い法人改革」「教職員の資質向上」「財政基盤の健全化」を掲げ、これらの実現に向けて取り組んでいます。

2023年度においては、次の施策を実施しました。

1. 健全な経営体質を維持するため、各設置校の中期計画に基づいて、具体的行動計画を作成して業務を推進しました。
2. 「人事基本理念」に基づき、「採用する人物像」に相応しい教職員の確保、「求める教職員・管理職像」に相応しい教職員の資質向上、働きがいと活力のある組織・職場づくりを実現するため、以下の取り組みを行いました。
 - ・法人内事務職員対象:事務のDX推進に向け、Microsoft 365 研修
勤怠管理システムの導入
 - ・大学教員対象:ラーニングメソッド研究会、研究発表大会
 - ・中高教員対象:①GoogleWorkspace操作方法
②Findアクティブラーナーでの宿題型研修 ③授業評価分析報告会
④新学習指導要領における観点別評価とその事例
⑤授業評価・学校評価分析報告会
 - ・県内大学7法人の事務局長を中心とした情報交換会への参加
 - ・教育・研究及び学校運営の強化・充実につながる優秀な人材確保（教・職員 21名）
 - ・教職員一人ひとりの健康管理サポート(ストレスチェックの実施)の継続
 - ・働き方改革を推進するため、社会保険労務士法人と委託契約を締結し、就業規則や給与制度、人事評価制度など、人事労務全般にわたる見直し作業の継続
3. 本学園の施設の現状把握を行い、優先すべき事項を総合的に判断し、施設の良好な維持、管理に努めました。

監事監査においては、本学園の業務の執行に関して、学校経営の健全性と効率性の観点から検証を行うとともに、教育の現状や研究活動の活性化への取り組み状況等、教学における監査を実施しました。また、理事長、学長、校長等に対して、経営方針や教育方針の達成度の確認、幹部教職員に対しては学内施設設備の状況、教職員の労働環境等に関してヒアリングや意識調査を実施しました。（延べ監査回数 24回）

2 静岡産業大学

【学内組織・教育体制等】

- ・私立学校法の改正を受け、2020年度から2024年度までの5年間を対象とした中期計画とより具体的な年度計画、さらに実施行動計画、スケジュールを落とし込んだアクションプランを作成し、「教育の質的転換に向けた教学マネジメントと改革」等を重要政策に位置付け、2021年度に策定した「学生個人ファイル」の実践化や「海外研修」の実施により継続的な教育の質的向上を目指すなど、様々な取り組みを進めました。
特に、海外研修では海外研修A(ベトナム)、海外研修B(台湾)にそれぞれ31名、12名の学生が参加し、充実した海外研修が実施できました。
- ・令和5年5月8日から新型コロナウイルス感染症の位置づけが「5類感染症」へ移行され、全国規模で対面式の日常が復活しました。これまでと同様に、手指消毒・換気の励行等を継続しながら文部科学省通知に基づき、「授業の実施方法に関する原則・方針」を踏襲し、ハイブリット型大学教育として「対面授業」「オンライン授業」を授業ごと、または授業内で使い分け・組み合わせて授業を実施しました。

- ・大学での学び方について研究する「第13回ラーニングメソッド研究会」を開催し、「体系的な教育の推進に向けて」をテーマに、思考や関心などを要請する学びについての発表と意見交換を行いました。
 - ・第18回全学研究発表大会を開催しました。本大会は多様な研究分野の教員がお互いの研究を聞き、また議論することによって、本学の研究の質的向上を目指すために行われています。本年度は3名の教員が研究成果の発表を行いました。
 - ・私立大学等改革総合支援事業において、プラットフォーム ふじのくに・地域大学コンソーシアムとして「タイプ3(プラットフォーム形成)」が6年連続で選定されました。
 - ・最先端の実践的教育を展開するために、産業界及び各種団体による寄付講座を16講座開講しました。(磐田キャンパス：磐田市、ヤマハ発動機、静岡県経済産業部(新産業集積課)、スズキ、ジュビロ磐田、浜松いわた信用金庫、静岡ブルーレヴズの7講座、藤枝キャンパス：藤枝市、藤枝商工会議所、藤枝ロータリークラブ、静岡銀行、中部電力、ブリヂストン、TOKAIグループ、静岡市、静岡県行政書士会の9講座)
 - ・入学試験合格者の入学意欲を高めるため、合格者向けイベントを開催しました。在学生が企画したイベントに32名の合格者が参加し、交流を深めました。
 - ・経営学部において、リーダーを育成するため、高校等での探究研究(課題研究)で学び得た力を生かし、自身で設定した地域課題や社会的問題などのテーマに基づき、プレゼンテーションを行う「探究プレゼン入試」を行い、合格者には特待生資格を付与しました。
 - ・海外協定校からの留学生は、3年次編入学生として前期に浙江樹人学院から1名が、後期に廈門大学国際学院から27名が、短期留学生として大真大学から前期に2名が、後期に1名が入学しました。
 - ・スポーツ科学部では、7つの進路先を把握するためのフォーマットからなる「なるにはシート」を活用し、学生の進路先を把握するとともに、アドバイザー教員による学生指導を行いました。
 - ・ふじのくに地域・大学コンソーシアム事業「資格×キャリア 学生と企業の交流会」を「Biviキャン」にて実施しました。
本学を中心に県内大学の1・2年生を中心に学生39名と県内企業11社が参加し、資格を業務に活かし活躍している社会人と交流する中で、資格の意味や意義など多くの学びと気づきを得る機会となりました。また企業側からの本企画の評価も高く、新たな学生への企業PR・社内キャリアのあり方を考える機会にもなりました。
 - ・両学部合同の学内企業ガイダンスを実施しました。
参加企業 69社、参加学生 201名(2024年2月、3年生対象)
 - ・地域社会に貢献し、公共の福祉の担い手となる人材を育成するため、「公務員受験講座」を引き続き開講(オンライン)しました。
 - ・カレッジスポーツと地域スポーツの推進並びに、強化スポーツクラブ内のガバナンス強化及びコンプライアンス推進に努めました。
カレッジスポーツクラブ 18団体 554名
- 【施設・設備関連】**
- ・ファイアウォールを2.5Gbps対応モデルに刷新し、学内LANの高速化に努めました。
 - ・継続して快適な無線LAN環境を提供するため、Cisco Merakiのライセンス更新を行いました。
 - ・DX推進のため、認証サーバ(AXIOLÉ)とMicrosoft365のAzure連携を実現しました。

(1) 磐田キャンパス(経営学部、スポーツ科学部)

【学内組織・教育体制等】

- ・2021年4月に開設したスポーツ科学部では、初年度110名、2022年度123名、2023年度155名の学生が入学し、最先端の設備を活用しながら、スポーツについての科学的根拠に基づく論理的な学びを実践しています。また、スポーツ科学部スポーツ科学科に設置した中学校教諭一種免許状(保健体育)課程及び高等学校教諭一種免許状(保健体育)課程では、1～3年132名の学生が教員を目指して必要な科目を履修しています。

- ・スポーツ科学部1年次の基礎ゼミナールでは、「パラフットボールを地球に根付かせるための多様な連携」をテーマにゲストスピーカーを招聘し、スポーツ科学部での学び、スポーツを「する」「みる」「ささえる」「知る」の一端を学ぶ機会を設けました。
- ・10月28・29日に本学にて第36回トレーニング科学大会を開催しました。「市民からトップアスリートにまで届くトレーニング科学」という大会テーマで、全国から200名を超える研究者、学生、スポーツ指導者等が参加し、二日間のプログラムの中で特別講演、基調講演、シンポジウム、ランチセミナー、一般研究発表等が行われました。大会の運営スタッフの中核は本学学生が担当し、発表者に質問をして議論する学生もいて、大きな刺激と学びを受けることができました。
- ・スポーツ科学部のリーダーを育成するため、自身で設定したスポーツ競技や運動の技術・やり方等のテーマに基づき、技術・方法の実演や資料を用いたプレゼンで選考を行う「スポーツプレゼンテーション入試」を実施しました。
- ・ニュースポーツやゆるスポーツを体験してもらうイベントとして、東アジア文化都市事業の助成を受け、磐田市・磐田商工会議所・本学の「産官学」が連携して、11月26日に、磐田キャンパスを会場に『シン・スポーツフェスティバル2023inいわた』を開催しました。当日は359人の来場者をお迎えし、「ザースボール」「モルック」「ベースボール5」「テックボール」ほか11種類のスポーツを体験していただき、大いににぎわいました。
- ・本学の新たな魅力の発信や人材育成、若者の郷土愛の醸成などを目的に、12月9日、磐田市民文化会館かたりあを会場に「静岡産業大学ダンスのタベ〜ダンスダンスダンス〜」を開催しました。イベントには、本学ダンス部の外、静岡学園応援指導部、磐田西高校ダンス部、浜松東高校ダンス部、横浜国立大学など団体個人合わせて総勢180人が出演し、約420人の一般入場者がありました。
- ・「次世代技術で産業構造を転換」をメインテーマに、「第13回産業振興フェアinいわた」が186企業・団体の参加を得て、11月10・11日に開催されました。本学からは経営学部とスポーツ科学部、スポーツ振興部がブースを出展し、熊王教授、中井准教授、木村講師等が運営を担当しました。
- ・2023年度実施の公立教員採用試験において13年連続の合格者(8名)を輩出しました。その内、3名が現役合格しました。
静岡県5名(中学校保健体育1名、特別支援学校中学部4名)浜松市1名(小学校1名)静岡県外1名(小学校1名)
- ・保育士養成課程の第5期生1名、第6期生11名が国家資格である「保育士資格」を取得しました。
- ・難関資格に挑む学生を応援する「資格取得奨励金」を、幼稚園二種免許状取得(2名)及びTOEIC700点以上(1名)、宅地建物取引士(1名)、計4名に支給しました。
- ・スポーツ科学部の学生を中心に、アスリート向けセミナーをオンラインにて開催しました。(11月～1月全5回)富士物産・Ath-UP様のご協力をいただき、低学年から将来のキャリアを考える、セカンドキャリアについての知見を得る機会となりました。
- ・2023年度実施の公務員採用試験において2名の合格者を輩出しました。
東京消防庁(初)、静岡県警察
- ・学部開催の学内企業ガイダンスを実施しました。
参加企業 3社、2・3年生必修授業にてオンライン実施(2023年11月、2・3年生対象)
- ・2月29日に磐田キャンパスを活用し「いわた仕事万博2024」を開催しました。主に磐田市内の企業37社と磐田市内の高校生を中心に大学生含め239名が参加しました。
- ・地域協力団体との連携強化を図るため、2016年に設立した「いわた総合スポーツクラブ」は、幼児から高校生までを対象としたスポーツクラブ(種目:体操、サッカー、柔道、トランポリン、プレスクール)に463名の参加を得て活動を行いました。
また、今年度10月から成人向けのヨガ教室を開講し、2クール実施し、28名(地域住民17名、教職員8名、学生3名)の参加がありました。
- ・大学祭「蒼樹祭」では、2組の演奏披露やスポーツフェスティバルの開催、また4年ぶりとなったフリーマーケットの開催や留学生による模擬店などにより、約1,000名が来場しました。

【施設・設備関連】

- ・ 4号館(食堂棟)のGHP空調更新工事、高架水槽(FRP製→FRP製2槽式)更新工事を行いました。
- ・ 老朽化のため傷やへこみのあった直走路(50mタータン)の改修工事を行いました。
- ・ 開学時より使用し、老朽化した3号館(1～4階04教室+3405教室の4教室)の机・椅子を一新するとともに、「BYOD」の導入に係るICT教育環境整備に取り組むため、3104、3304教室は既存の卓上コンセントを更新し、3405教室は新規に卓上コンセントを設置しました。
- ・ 学生が安心・安全に大学生活を送れるよう、屋外監視カメラ等の設置を行いました。
- ・ iPad20台と動作分析アプリ(SPLYZA)を導入し、スポーツ系教員の授業要望に応えました。
- ・ 老朽化した各教室(3104・3105・3404・5105・6102)のプロジェクターを5,000lmクラス以上の最新モデルに更新しました。

【総合研究所事業】

- ・ 市民や学生を対象とした資格講座(宅地建物取引士、MOS Excel、MOS Word、ファイナンシャル・プランニング3級の4講座)を開講し、119名(うち本学学生69名)が受講しました。また、第30回公開講座は98名(うち本学学生16名)、第25回パソコン講座は98名が受講しました。

(2) 藤枝キャンパス(経営学部)**【学内組織・教育体制等】**

- ・ 地方自治体等の地域課題解決事業として、静岡市など県中部5市2町(3件)、藤枝市(1件)、ふじのくに地域大学コンソーシアム(2件)が採択されました。
- ・ 難関資格に挑む学生を応援する「資格・免許取得奨励金」を、税理士科目、TOEIC、宅地建物取引士の合格者4名・5件支給しました。(税理士科目2科目合格者1名)
- ・ 2023年度実施の公務員採用試験において3件内定を獲得しました。
防衛省・自衛隊(幹部候補生、一般候補生、自衛官候補生)、警視庁、藤枝市役所
- ・ 学部開催の学内企業ガイダンスを実施しました。
参加企業 3社、2・3年生必修授業にてオンライン実施(2023年11月、2・3年生対象)
- ・ 静岡県中小企業家同友会志太支部10月例会にて1・2年生の学生各1名が経営者になり代わり会社の歴史(過去・現在・未来)についてプレゼンテーションを行いました。
開催にあたり企業訪問・社長同行、プレゼン指導など経営者の皆様より多くのご指導を直接いただく機会となりました。
- ・ 「日本語教育研究センター」の主催による「俳句コンテスト」を実施し、全国から1,549名(一般の部 375名、学生の部 1,174名)の応募がありました。
- ・ 4年ぶりに制限なしの一般開放での開催となった大学祭「鳳翔祭」では、体育館ステージでのラジオ番組「それいけ!曖昧moco」の公開放送や「にっぽんワチャチャ」のミニライブなどを企画し、2日間で561名が来場しました。

【施設・設備関連】

- ・ 経年劣化のため、昨年に引続き1号館2～4階の講義室の空調設備を更新しました。
- ・ 1号館とメディアアートセンター棟の屋上防水工事を行いました。
- ・ メディアアートセンター棟の壁面塗り替え工事を行いました。
- ・ 安全と美化を考慮し、食堂前にインターロッキングの施工を行いました。
- ・ 後援会の支援を受け、図書館に除湿機を設置しました。
- ・ 雨天時の転倒防止のため、正面玄関内に吸水マットを設置しました。
- ・ 老朽化したプロジェクター(1306教室)を5,000lmクラスの最新モデルに更新しました。

【総合研究所事業】

- ・ 市民や学生を対象とした資格講座(宅地建物取引士、ファイナンシャル・プランニング2,3級、秘書 2,3級、電子会計 2,3級、色彩検定 2級、ITパスポートの9講座)を開講し、103名(うち本学学生27名)が受講しました。また、藤枝市より「藤枝市民大学」の実施運営事業を受託し、一般教養コースの教養講座(10講座)174名・地域学講座(10講座)202名、リカレント教育コースの基礎講座(10講座)54名・専門講座(10講座)48名、資格取得講座(13講座)76名が受講しました。

- ・藤枝市や地元企業などと連携し、これからの時代に必要とされる能力を身につけた人材の育成を目的に、革新的人材育成事業「bizneo(ビズネオ)プロジェクト」を「Biviキャン」にて実施し、本学の1年生 19名が参加しました。

3 静岡学園中学校・高等学校

【校内組織・教育体制等】

- ・新型コロナウイルス感染症の5類引き下げに伴い以前の学校教育活動に戻すべく取り組みました。
- ・教養科学科のこれまでの成果と課題を分析するため、中長期計画策定委員会による改善、修正が進められ、課題別のワーキンググループを設置し、「教育課程・カリキュラム検討」「静学SEL」「中高一貫」「同窓会活動検討」「ギガスクール対応検討」「シヅクリ」「視聴覚機器検討」「ジェンダーフリー・制服検討」について話し合い、改革に着手しました。
- ・多様化に対応すべく新制服の検討に着手し、文化祭や説明会時に来場者アンケート・投票を実施するなど多くの意見を取り入れ、来年度より新入生から導入の運びとなりました。
- ・全教員対象の研修を5回、外部講師による授業評価・検討やICT支援アプリの研修等を行い、教員のスキルアップを行いました。
- ・「自主・自律の精神」「共生の精神」「真理と生命を尊ぶ精神」「進取の精神」の教育理念に基づき、10年後・20年後、地域や世界に貢献し、真のエリート・リーダーとして未来を創造する人材を育てるため、以下の6つのプログラムを推進しました。
 - ① SHIZUGAKU GOLDEN TIME (SGT 正規時間割以外に行う大学や企業の専門家の講義、地域の方々から学ぶ地域学、受験対策などの学びの時間)
 - ・教員による特色ある講座、3年生中心の補習系講座のほか、大学教員、裁判官、プログラマー、工芸家などの外部講師による多種多様な講座を開講しました。
 - また、安倍川奥の棚田における「農業体験～棚田で遊ぼう」などの講座も引き続き開講しました。
 - ・第58回開校記念式記念講演は、講師として文化人類学者で立命館大学教授小川さやか氏をお招きし、「新しい未来を切り拓く想像力のタネ」という演題でお話いただきました。
 - ② 全校ボランティア活動(社会貢献の喜びを中高生の時に体験)
 - ・ボランティア活動について、1月の能登半島地震の際、生徒会を中心に全校の募金を早期実施することができました。
 - ③ インターナショナルプログラム(多様な文化や価値観を理解する資質とコミュニケーション能力を養う)
 - ・英語の授業にオンラインによる英会話を取り入れ、各生徒8回実施しました。
 - ・高校2年生によるシンガポールへの修学旅行、3月の優秀生徒ニュージーランド語学研修を実施しましたが、中学3年生のハワイ修学旅行、オーストラリアJWACS(ジョン・ウォルストン・アングリカン・コミュニティ・スクール)などのプログラムは中止となりました。
 - ④ 地域共生活動(地域の方々を誇りに思ってもらえる学校づくり)
 - ・「静岡学園と地域の共生を考える会」は町内会との協議の結果、必要な時に随時開催することとなりましたが、最近では、防災訓練等で近隣町内との連携が密になっています。
 - ⑤ 総合的学習の時間「緑風塾」(問題意識や課題を持ち、学ぶ意義や人生の意味を理解)
 - ・高校1年生と2年生は、各学年で5、6名程度のグループをつくり、自らが課題を見つけ、解決策をプレゼン発表していく中で、「主体的、対話的で深い学び」を実践しました。
 - ⑥ 日本の伝統文化継承プログラム(わが国の伝統・文化を身近に体験、日本人としての誇りと自覚を持つ)
 - ・中学生の将棋・囲碁・かるたの和文化体験、礼法を含めたお茶会を実施しました。
 - ・中学では、ハワイへの修学旅行に代わる京都を中心とした関西方面研修となりました。2年生は裾野でのスキー体験、1年生は広島での平和学習を実施しました。
 - 英語学習において、イングリッシュキャンプを12月に開催しました。また、1年生は英語集中プログラムを3日間実施、2年生から高校1年生までの希望者が3月にオーストラリア語学研修に参加しました。1年生と2年生は地域企業連携探究型活動「シヅクリプロジェクト」に参加しました。

- ・ 防災対策として避難訓練、防災訓練を実施し、非常時の対応を学びました。
- ・ 大学合格者数は、国公立大118名、私立大では早慶上理関関同立GMARCH医の難関私大185名となり、内、私立大医学科に3名が合格しました。
- ・ 部活動では中高サッカー部・柔道部、高校卓球部・体操部が全国大会に出場し、柔道部の個人1名が全国高校総体第3位となりました。
- ・ 静学祭は今年度よりフル開催となり、2,700組もの来場者で賑わいました。
- ・ 体験入学入試説明会も入場制限なしで実施し、毎回約1,500人に参加していただきました。
- ・ 本校オリジナル「静岡学園中学校・高等学校図書館図書100選」、中学生用「私の作る読書ノート」および新聞を用いた探究活動を記録する「教養科学の樹」を配布しました。

【施設・設備関連】

- ・ 教育棟、図書館棟、体育館棟の石目調部分のクリア塗装を行いました。
- ・ 教育棟屋上の防水シートの修繕を行いました。
- ・ 谷田グラウンド防球ネット、衝突吸収マットの設置等工事を行いました。

[中期的な計画(教学・人事・施設・財務等)及び事業計画の進捗・達成状況]

建学の精神(孝友三心(服する心、感謝する心、全うする心))を教学の基本理念に掲げ、各設置校において、人間教育を実践しています。

学校法人及び各設置校は、以下の基本戦略、重点政策を掲げた中期計画(2020年度～2024年度)及び事業計画に沿って、上記掲出の主な教育・研究の概要のとおり遂行しました。

(学校法人新静岡学園)

- I 財務体質の強化「教育力の向上と地域の信頼による入学者確保」
- II ガバナンス体制「理事長・学長の意思疎通の円滑化・常任理事会の充実・監査機能の実質化、内部統制体制と内部監査体制の確立」
- III 人事「資質向上と意識改革」
- IV 給与制度の再構築「定年制度、給与制度等の検討」
- V ファシリティマネジメント「教育活動上の必要性や優先順位、教育効果を考慮した適正規模、内容の施設整備計画の作成」
- VI 危機管理及び法令順守「危機管理体制の拡充」
- VII 外部要因を視野に入れた発展戦略の策定

(静岡産業大学)

- I 教育の質的転換とその実質化
- II 大学改革事業推進のための財務基盤の確立
- III 中期計画の着実な遂行のための組織ガバナンスの強化

(静岡学園中学校・高等学校)

- I 教育内容とその充実
- II 入学者の質(学力)と定員の確保
- III 大学進学実績の向上
- IV 生徒・保護者の満足度の向上
- V 教員の質と定数の適正化
- VI 施設・設備の充実
- VII 財務状況の改善

4 主な事業の実績

(1) 事業活動収支事業

(単位:千円)

事業名	所管部署	予算	実績	主な実績
(磐田キャンパス(経営学部・スポーツ科学部))				
教員研究事業	総務課	14,707	13,795	個人研究費、特別研究支援経費 8人
施設・設備一般管理事業	〃	105,361	104,446	施設統括管理、各種保守管理、光熱水費、火災保険料 他
施設・設備等修繕事業	〃	6,800	6,358	授業機器等定期修繕費用、一般修繕費用
教務管理事業	教務課	9,061	8,066	授業用消耗品、シラバス等印刷費、ジェネリックスキル測定テスト費用 他
寄付講座実施事業	〃	551	202	7講座
学生課外活動等支援事業	学生支援課	17,436	17,185	部会 16団体、愛好団体 8団体の活動支援
奨学支援事業	〃	149,690	134,817	新規 266人、継続 165人、修学支援新制度 131人
学生支援課運営事業	〃	2,799	1,602	国際交流推進、留学生募集 他
就職支援事業	キャリア支援課	13,621	10,348	企業訪問 200社(両キャンパス計 300社)、企業ガイダンス2回、インターシッフ 50社 他
公務員試験対策講座事業	〃	2,790	2,376	講師委託費 年間198コマ @12,000
図書館管理運営事業	図書館課	7,958	7,598	データベース 4件、和洋雑誌 85誌、新聞 13紙 他
大学自己点検・評価推進事業	大学事務局	282	270	評価機構等年会費 270 他
入学試験事業	入試・広報室	12,369	12,082	入試関連印刷費 他
説明会・ガイダンス・高校訪問事業	〃	7,244	6,570	大学説明会 5回、進学ガイダンス・高校訪問 200回
オープンキャンパス事業	〃	4,805	4,764	5回(2023実績 1,730人(保護者含む))
媒体広告事業	〃	44,489	44,371	進学情報誌・サイト 8社、クロスメディア、DM、看板、各種広告制作、SSU NEWS等発行 他
大学案内・大学ホームページ事業	〃	18,742	19,252	大学案内企画制作費・印刷費、HP更新費・改修費 他
入試広報管理運営事業	〃	403	269	入試・広報室運営経費
情報システム事業	情報システム課	27,871	27,271	コンピュータ整備、システム保守、インターネット回線費用 他
総合研究所運営事業	総合研究所	4,270	2,632	資格取得講座運営、活動経費
スポーツ振興事業	スポーツ振興部	47,531	45,545	クラブコーチ外部委託費・旅費交通費、クラブスカウト活動費用 他
総合型地域スポーツクラブ事業	〃	14,938	14,838	スポーツクラブ運営費用、指導者研修費用 他
スポーツ教育研究センター事業	〃	1,830	768	セミナー費用、NEWS LETTER発行・発送費用 他
(藤枝キャンパス(情報学部・経営学部))				
教員研究事業	総務課	9,983	7,855	個人研究費、特別研究支援経費 3人
地域課題解決事業	〃	1,949	1,004	藤枝市地域政策研究・創造事業 他
施設・設備一般管理事業	〃	48,108	47,555	施設統括管理、各種保守管理、光熱水費、火災保険料 他
施設・設備等修繕事業	〃	5,022	1,308	トイレウォシュレット交換他、一般修繕費用
サテライトキャンパス事業	〃	10,823	10,722	藤枝駅前サテライトキャンパス運営費用
教務管理事業	教務課	6,809	5,374	授業用消耗品、シラバス等印刷費、ジェネリックスキル測定テスト費用 他
寄付講座実施事業	〃	420	241	9講座、交流会、開講お礼訪問 他
学生課外活動等支援事業	学生支援課	5,632	4,737	部活動支援 他
奨学支援事業	〃	128,367	116,458	新規 357人、継続 318人、修学支援新制度 83人
学生支援課運営事業	〃	4,746	3,916	国際交流推進、留学生募集 他
就職支援事業	キャリア支援課	8,652	5,526	1・2年生全員キャリア面談、学内企業ガイダンス、キャリアデザイン授業委託講師料他
公務員試験対策講座事業	〃	2,403	2,376	講師委託費 年間198コマ @12,000
図書館管理運営事業	図書館課	8,302	7,411	データベース 4件、和洋雑誌 94誌、新聞 12紙 他
美術館運営事業	〃	865	330	浦田周社木版画美術館管理運営費用
大学自己点検・評価推進事業	大学事務局	188	180	評価機構等年会費 180
入学試験事業	入試・広報室	8,331	8,097	入試関連印刷費 他
説明会・ガイダンス・高校訪問事業	〃	4,612	4,302	大学説明会 3回、ガイダンス(210回)・高校訪問(653回)
オープンキャンパス事業	〃	2,536	2,432	8回(2023実績 682人)
媒体広告事業	〃	29,726	29,581	進学情報誌・サイト 8社、クロスメディア、DM、看板、各種広告制作、SSU NEWS等発行 他
大学案内・大学ホームページ事業	〃	12,481	12,309	大学案内・受験生サイト企画制作費・印刷費、HP更新費・改修費 他
入試広報管理運営事業	〃	392	356	入試・広報室運営経費(消耗品・旅費交通費 他)
情報システム事業	情報システム課	22,069	21,314	コンピュータ整備、システム保守、インターネット回線費用 他
総合研究所運営事業	総合研究所	22,435	9,742	市民大学、資格取得講座運営、活動経費
スポーツ振興事業	スポーツ振興部	5,260	4,581	クラブコーチ外部委託費・旅費交通費、クラブスカウト活動費用 他

(単位:千円)

事業名	所管部署	予算	実績	主な実績
(高等学校)				
教職員研修事業	高校事務局	4,261	3,562	教員研修、外部評価委員会費用、学校評価等アンケート費用 他
施設・設備一般管理事業	〃	75,114	66,752	各種保守管理費、光熱水費、教育棟増築・図書館棟3階改修に伴う解体費 他
施設・設備等修繕事業	〃	57,399	55,818	校舎外壁保護塗装、教育棟屋上全面防水、一般修繕費用
奨学支援事業	〃	110,770	90,638	奨学生 新規117人、継続193人、入学金減免98人
全国大会出場支援事業	〃	21,052	19,684	全国大会出場旅費支援(体操、柔道、卓球)、サッカープレミアリーグ旅費交通費、会場費
生徒募集事業	〃	18,654	18,557	入試説明会1回、体験入学3回、個別相談会6回 他
ICTインフラ整備事業	情報管理課	27,849	23,675	教員用ipad通信費、システムサポートヘルプデスク費用、chromebook40台 他
国際交流事業	国際交流課	4,198	3,871	オーストラリア研修、ニュージーラント優秀生徒派遣プログラム
SGT事業等 新教育に関する事業	教務課 他	864	473	講師謝礼・交通費、教材費 他
(中学校)				
施設・設備一般管理事業	中学事務局	11,354	11,000	各種保守管理費、光熱水費、火災保険料 他
奨学支援事業	〃	6,074	3,980	奨学生 新規5人、継続7人、入学金減免2人
全国大会出場支援事業	〃	2,925	1,812	全国大会出場旅費支援(サッカー、柔道、卓球)
生徒募集事業	〃	9,759	9,622	体験入学3回、個別相談会8回 他
ICTインフラ整備事業	情報管理課	3,633	3,116	教員用ipad通信費、システムサポートヘルプデスク費用、LAN保守 他
SGT事業等 新教育に関する事業	教務課 他	1,668	1,141	講師謝礼・交通費、教材費 他
(法人事務局)				
人事管理運営事業	総務課	9,850	9,049	採用経費、人事・給与システム保守費用、派遣職員委託費 他
法人研修事業	〃	2,866	678	事務職員合同研修会研修(Microsoft365基礎セミナー)委託費 他
法人広報・渉外事業	〃	4,923	2,096	戦略広報経費、役員賠償責任保険料 他
理事会・評議員会等運営事業	〃	2,751	2,305	理事会5回、評議員会3回、常任理事会9回
会計事務管理事業	管理課	1,482	1,430	会計システム保守費用 他
各種システム再構築事業	〃	2,026	1,991	業務系サーバ運用ネットワーク整備 他

(2) 施設整備等活動収支事業

(単位:千円)

事業名	所管部署	予算	実績	主な実績
(磐田キャンパス(経営学部・スポーツ科学部))				
施設整備事業	総務課	95,873	70,718	4号館空調機・高架水槽更新工事1号館高架水槽更新工事
3号館整備事業	教務課	37,255	34,248	3号館机・椅子・教卓更新(3104・3304・3404・3505)
情報関連設備整備事業	情報システム課	30,436	10,105	パロアルトFWリプレイス及び10G化対応
(藤枝キャンパス(経営学部))				
施設整備事業	総務課	180,076	167,140	メディアアート棟外壁改修、1号館防水空調更新工事他
情報関連設備整備事業	情報システム課	4,288	4,210	パロアルトFWリプレイス及び10G化対応、1306教室プロジェクト更新
(高等学校)				
ICTインフラ整備事業	情報管理課	18,124	13,615	パロアルトFWリプレイス及び10G化対応、PC教室PC49台、生徒用ノートPC40台 他
谷田グラウンド整備事業	高校事務局	16,502	15,387	防球ネット張替工事、防護マット設置工事
教育用PC等整備事業	〃	5,619	4,686	部室棟製氷機2台、印刷室複合機2台、サッカーコート 他
職員用PC等整備事業	〃	3,020	2,884	事務室複合機1台、職員用PC更改ノートPC12台、デスクトップPC2台
教室整備事業	〃	2,986	2,979	生徒用机120台、椅子120台
学校グラウンド整備事業	〃	1,705	1,705	テニスコート照明工事
(中学校)				
職員用PC等整備事業	高校事務局	380	297	事務室複合機1台、職員用PC更改ノートPC1台
ICTインフラ整備事業	情報管理課	1,597	1,221	パロアルトFWリプレイス及び10G化対応 他

Ⅲ 財務の概要

1 資金収支について

○ 資金収支計算書の概要

「資金収支計算書」は、学校法人の当該会計年度の諸活動に対応するすべての収入・支出の内容と、その支払資金の収入・支出の顛末を明らかにするものであります。

本法人の資金収支計算の決算の概要は、次のとおりであります。

なお、施設関係支出には、磐田キャンパスの4号館空調機及び1号館高架水槽更新工事、藤枝キャンパスの1号館空調設備更新工事、メディアアートセンター棟外壁改修工事に係る費用を含んでおり、設備関係支出には、磐田キャンパスの3号館机・椅子・教卓更新に係る費用を含んでおります。

【収入の部】

(単位:千円)

科目	2023年度	2022年度	2021年度	2020年度	2019年度
学生生徒等納付金収入	2,694,926	2,749,924	2,652,651	2,532,274	2,476,548
手数料収入	75,561	71,158	74,080	73,045	78,233
寄付金収入	34,795	39,853	50,359	13,256	11,004
補助金収入	934,943	961,162	839,791	772,008	728,779
資産売却収入	0	816	0	0	0
付随事業・収益事業収入	55,548	52,435	91,086	42,773	51,433
受取利息・配当金収入	1,021	882	804	899	1,073
雑収入	99,565	161,581	172,633	110,590	182,510
前受金収入	283,308	318,289	339,612	376,638	379,193
その他の収入	287,083	327,173	262,298	255,305	223,808
資金収入調整勘定	△ 445,551	△ 535,220	△ 582,539	△ 553,038	△ 528,840
前年度繰越支払資金	2,803,018	2,853,345	2,595,326	2,478,952	2,567,343
収入の部合計	6,824,220	7,001,403	6,496,104	6,102,708	6,171,088

【支出の部】

科目	2023年度	2022年度	2021年度	2020年度	2019年度
人件費支出	1,971,072	2,016,770	2,008,013	1,942,978	2,191,303
退職金支出	61,090	127,222	121,220	74,097	186,456
教育研究経費支出	1,069,592	1,040,050	900,653	879,305	755,997
奨学費支出	345,892	396,910	348,465	354,128	215,635
管理経費支出	388,763	367,176	373,309	323,367	388,442
借入金等利息支出	0	0	89	373	665
借入金等返済支出	0	0	25,248	30,528	30,528
施設関係支出	255,287	531,162	170,085	193,027	89,207
設備関係支出	84,428	132,676	56,164	55,325	91,281
資産運用支出	69,287	101,005	84,914	64,189	76,441
その他の支出	132,195	111,724	114,635	128,506	188,243
資金支出調整勘定	△ 69,444	△ 102,181	△ 90,356	△ 110,220	△ 119,976
翌年度繰越支払資金	2,923,037	2,803,018	2,853,345	2,595,326	2,478,952
支出の部合計	6,824,220	7,001,403	6,496,104	6,102,708	6,171,088

注) 各科目の決算額は千円未満を切り捨てて表示しています。

○ 活動区分資金収支計算書

「活動区分資金収支計算書」は、資金収支計算書に記載される資金収入及び資金出の決算額を「教育活動による資金収支」、「施設整備等の活動による資金収支」、「その他の活動による資金収支」の活動ごとに区分して記載する計算書であります。

(単位:千円)

科 目	2023年度	2022年度	2021年度	2020年度	2019年度
教育活動による資金収支					
教育活動資金収入計	3,882,162	3,973,311	3,852,767	3,538,097	3,523,766
教育活動資金支出計	3,429,428	3,423,997	3,281,976	3,145,651	3,335,744
差引	452,734	549,314	570,790	392,445	188,022
調整勘定等	1,891	△ 4,256	△ 75,987	△ 9,048	△ 142,252
教育活動資金収支差額	454,625	545,057	494,803	383,397	45,769
施設整備等活動による資金収支					
施設整備等活動資金収入計	13,178	63,621	27,835	5,853	25,218
施設整備等活動資金支出計	339,715	663,839	226,250	248,353	180,489
差引	△ 326,537	△ 600,217	△ 198,415	△ 242,500	△ 155,271
調整勘定等	△ 1,738	9,949	△ 7,308	△ 12,077	9,795
施設整備等活動資金収支差額	△ 328,276	△ 590,268	△ 205,723	△ 254,577	△ 145,476
小計(教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額)	126,348	△ 45,211	289,079	128,820	△ 99,707
その他の活動による資金収支					
その他の活動資金収入計	93,529	122,155	89,258	100,980	135,778
その他の活動資金支出計	99,859	127,270	120,318	109,022	128,867
差引	△ 6,330	△ 5,115	△ 31,060	△ 8,041	6,911
調整勘定等	0	0	0	△ 4,404	4,404
その他の活動資金収支差額	△ 6,330	△ 5,115	△ 31,060	△ 12,446	11,315
支払資金の増減額(小計+その他の活動資金収支差額)	120,018	△ 50,326	258,019	116,373	△ 88,391
前年度繰越支払資金	2,803,018	2,853,345	2,595,326	2,478,952	2,567,343
翌年度繰越支払資金	2,923,037	2,803,018	2,853,345	2,595,326	2,478,952

注) 各科目の決算額は千円未満を切り捨てて表示しています。

1-2 施設整備等活動(設備投資)関連収支について

限られた収入の中で、安定した財政基盤を維持しつつ、必要な施設整備を実施していくため、本法人では、投資する資金額に対応した財源の確保を目的として、各種資産の取得に関連する収支を抽出、整理して管理しています。

本法人の固定資産(設備投資)関連収支の実績は、次のとおりであります。

なお、2023年度の施設設備寄付は、藤枝キャンパスの教室サイン交換資金を、施設設備補助金は、静岡キャンパスの私立大学等研究設備整備費等補助金(私立高等学校等ICT教育設備整備推進事業費)を含んでおり、建物には、磐田キャンパスの4号館空調機及び1号館高架水槽更新工事、藤枝キャンパスの1号館空調設備更新工事及びメディアアートセンター棟外壁改修工事に係る費用を、機器備品には、磐田キャンパスの3号館机・椅子・教卓更新に係る費用を含んでおります。

【施設整備等活動収入】

(単位:千円)

科目	2023年度	2022年度	2021年度	2020年度	2019年度
施設設備寄付金	5,720	12,805	20,160	5,853	3,000
現物寄付	9,911	7,386	5,158	5,018	19,717
施設設備補助金	7,458	50,000	7,675	0	1,743
当年度収支からの組入額	0	0	0	0	0
小計(1)	23,089	70,191	32,993	10,871	24,460
引当特定資産からの繰入	0	0	0	0	0
資産売却その他	0	816	0	0	0
小計(2)	23,089	71,007	32,993	10,871	24,460
留保資金からの充当額	326,967	600,685	224,803	273,825	206,984
収入合計	340,145	664,306	252,638	279,678	211,727

【施設整備等活動支出】

科目	2023年度	2022年度	2021年度	2020年度	2019年度
借入金等返済	0	0	25,248	30,528	30,528
土地	0	0	0	0	26,789
建物	225,678	513,216	161,696	26,247	17,749
構築物	29,609	17,946	8,233	163,677	44,668
建設仮勘定	0	0	155	3,102	0
機器備品	79,151	104,206	50,384	40,519	85,062
図書	5,276	6,527	5,780	7,162	6,219
車両	0	21,942	0	7,643	0
その他	430	467	1,140	797	710
支出合計	340,145	664,306	252,638	279,678	211,727

注) 各科目の決算額は千円未満を切り捨てて表示しています。

2 事業活動収支について

○ 事業活動収支計算書の概要

「事業活動収支計算書」は、学校法人の当該会計年度における教育活動、教育活動以外の経常的な活動、それ以外の活動、の3つの活動区分ごとに、事業活動収入及び事業活動支出の内容と、その均衡状態を明らかにし、学校経営の健全性を維持するための指標であります。

本法人の事業活動収支計算の決算の概要は、次のとおりであります。

(単位:千円)

科目	2023年度	2022年度	2021年度	2020年度	2019年度
教育活動収支					
事業活動収入の部					
学生生徒等納付金	2,694,926	2,749,924	2,652,651	2,532,274	2,476,548
手数料	75,561	71,158	74,080	73,045	78,233
寄付金	29,075	27,048	30,199	7,569	8,116
経常費等補助金	927,485	911,162	832,116	772,008	727,036
付随事業収入	55,548	52,435	91,086	42,773	51,433
雑収入	99,565	161,581	172,633	110,590	182,510
教育活動収入計	3,882,162	3,973,311	3,852,767	3,538,262	3,523,878
事業活動支出の部					
人件費	1,974,864	2,022,925	2,044,863	1,970,749	2,161,701
教育研究経費	1,533,688	1,495,088	1,370,798	1,372,771	1,249,628
減価償却額	464,095	454,631	470,145	493,390	493,518
管理経費	445,842	424,530	431,281	381,867	445,877
減価償却額	57,079	57,353	57,972	58,409	57,434
徴収不能額等	4,601	0	0	311	5,508
教育活動支出計	3,958,996	3,942,544	3,846,944	3,725,699	3,862,716
教育活動収支差額	△ 76,833	30,766	5,823	△ 187,437	△ 338,837
教育活動外収支					
事業活動収入の部					
受取利息・配当金	1,021	882	804	899	1,073
その他の教育活動外収入	300	300	275	100	0
教育活動外収入計	1,321	1,182	1,079	999	1,073
事業活動支出の部					
借入金等利息	0	0	89	373	665
教育活動外支出計	0	0	89	373	665
教育活動外収支差額	1,321	1,182	990	626	408
経常収支差額	△ 75,512	31,949	6,813	△ 186,810	△ 338,429
特別収支					
事業活動収入の部					
資産売却差額	0	816	0	0	0
その他の特別収入	23,089	70,191	32,993	10,871	24,460
特別収入計	23,089	71,007	32,993	10,871	24,460
事業活動支出の部					
資産処分差額	16,373	9,376	1,546	10,442	1,845
特別支出計	16,373	9,376	1,546	10,442	1,845
特別収支差額	6,716	61,630	31,446	428	22,615
基本金組入前当年度収支差額	△ 68,796	93,580	38,260	△ 186,381	△ 315,814
基本金組入額	△ 301,101	△ 627,773	△ 202,034	△ 63,264	△ 202,398
当年度収支差額	△ 369,897	△ 534,192	△ 163,774	△ 249,645	△ 518,212
前年度繰越収支差額	△ 6,358,023	△ 5,823,830	△ 5,660,056	△ 5,414,111	△ 4,895,898
基本金取崩額	0	0	0	3,701	0
翌年度繰越収支差額	△ 6,727,920	△ 6,358,023	△ 5,823,830	△ 5,660,056	△ 5,414,111
(参考)					
事業活動収入計	3,906,573	4,045,502	3,886,840	3,550,133	3,549,412
事業活動支出計	3,975,369	3,951,921	3,848,580	3,736,515	3,865,226

注) 各科目の決算額は 千円未満を切り捨てて表示しています。

3 資産、負債等について

○ 貸借対照表の概要

学校法人の「貸借対照表」は、教育活動のために必要な資産の保有状況を表示するものであります。

本法人の貸借対照表の概要は、次のとおりであります。

【資産の部】

(単位:千円)

科 目	2023年度末	2022年度末	2021年度末	2020年度末	2019年度末
固定資産	14,790,425	14,982,073	14,838,072	15,137,348	15,449,322
有形固定資産	14,700,874	14,888,795	14,734,824	15,033,079	15,340,963
土地	6,038,350	6,038,350	6,038,350	6,038,350	6,038,350
建物	7,177,167	7,287,751	7,102,788	7,258,956	7,554,201
構築物	371,929	425,263	491,319	570,796	522,114
教育研究用機器備品	420,920	429,875	411,890	480,836	555,902
図書	621,788	631,814	626,330	621,392	614,886
建設仮勘定	0	0	155	3,102	0
特定資産	45,878	49,613	54,806	55,962	53,131
その他の固定資産	43,672	43,665	48,441	48,306	55,227
流動資産	3,113,778	3,078,367	3,140,566	2,835,927	2,704,557
現金預金	2,923,037	2,803,018	2,853,345	2,595,326	2,478,952
資産の部合計	17,904,203	18,060,441	17,978,639	17,973,276	18,153,880

【負債及び純資産の部】

科 目	2023年度末	2022年度末	2021年度末	2020年度末	2019年度末
固定負債	472,156	468,364	462,208	425,358	422,835
長期借入金	0	0	0	0	25,248
退職給与引当金	472,156	468,364	462,208	425,358	397,587
流動負債	497,260	588,494	606,427	676,175	672,921
短期借入金	0	0	0	25,248	30,528
前受金	283,308	318,289	339,612	376,638	379,193
負債の部合計	969,416	1,056,858	1,068,636	1,101,534	1,095,756
基本金	23,662,707	23,361,605	22,733,832	22,531,798	22,472,235
繰越収支差額	△ 6,727,920	△ 6,358,023	△ 5,823,830	△ 5,660,056	△ 5,414,111
負債及び純資産の部合計	17,904,203	18,060,441	17,978,639	17,973,276	18,153,880

注) 各科目の決算額は千円未満を切り捨てて表示しています。

4 収益事業(指定管理事業)の状況について

2017年10月から、藤枝市が「教育・文化の拠点」、「産学官での人の流れをつくる情報ビジネス創造拠点」として設置した「藤枝市産学官連携推進センター」の指定管理業務を受託し、同施設の運営管理事業を開始しました。

当該事業の貸借対照表及び損益計算書の概要は、次のとおりであります。

【貸借対照表】

(単位:千円)

科 目	2023年度末	2022年度末	2021年度末	2020年度末	2019年度末
流動資産	12,278	11,519	11,883	12,106	7,191
固定資産	0	0	0	0	0
資産合計	12,278	11,519	11,883	12,106	7,191
流動負債	12	354	285	2,506	0
固定負債	0	0	0	0	0
負債合計	12	354	285	2,506	0
純資産合計	12,266	11,165	11,598	9,600	7,191
元入金	33,488	33,488	33,488	33,488	33,488
利益剰余金	△ 21,221	△ 22,322	△ 21,889	△ 23,887	△ 26,296
負債・純資産合計	12,278	11,519	11,883	12,106	7,191

【損益計算書】

科 目	2023年度	2022年度	2021年度	2020年度	2019年度
営業収益合計	10,512	9,534	9,859	11,059	5,336
営業費用合計	9,411	9,966	7,861	8,650	14,400
営業利益	1,100	△ 432	1,997	2,409	△ 9,063
営業外収益合計	0	0	0	0	0
営業外費用合計	0	0	0	0	0
経常利益	1,100	△ 432	1,997	2,409	△ 9,063
当期純利益	1,100	△ 432	1,997	2,409	△ 9,063

注) 各科目の決算額は千円未満を切り捨てて表示しています。

<参考資料>

財務比率の推移

(単位：%)

項目	部門	静岡産業大学				静岡学園中・高等学校			合計	純計
		経営学部	情報学部	スポーツ科学部	計	高等学校	中学校	計		
人件費比率 ▼ 人件費 経常収入	2019年度	52.7	85.6	—	60.5	56.9	68.3	61.3	61.3	61.3
	2020年度	45.2	84.0	—	50.8	60.9	64.4	61.5	55.7	55.7
	2021年度	45.4	76.0	53.4	48.2	58.3	63.1	59.1	53.1	53.1
	2022年度	45.0	164.1	42.2	45.5	58.3	58.0	58.3	50.9	50.9
	2023年度	47.4	—	40.0	45.7	56.3	60.4	56.9	50.9	50.9
人件費依存率 ▼ 人件費 学生生徒等納付金	2019年度	66.0	108.1	—	75.9	103.8	129.5	108.3	87.3	87.3
	2020年度	54.3	99.2	—	60.9	120.6	122.3	120.9	77.8	77.8
	2021年度	57.6	97.6	74.8	61.6	115.3	120.3	116.3	77.1	77.1
	2022年度	56.7	172.6	55.4	57.6	116.3	110.9	115.3	73.6	73.6
	2023年度	58.5	—	51.1	56.9	113.7	114.0	113.8	73.3	73.3
教育研究費率 △ 教育研究経費 経常収入	2019年度	33.9	43.7	—	36.2	37.7	19.9	34.5	35.5	35.5
	2020年度	42.7	31.7	—	41.1	37.8	20.7	34.7	38.8	38.8
	2021年度	35.0	29.9	61.9	36.7	36.1	21.0	33.5	35.6	35.6
	2022年度	37.1	32.5	47.0	38.5	38.3	25.0	36.0	37.6	37.6
	2023年度	38.4	—	38.6	38.5	44.1	26.6	41.3	39.5	39.5
管理経費比率 ▼ 管理経費 経常収入	2019年度	16.0	10.2	—	14.7	5.1	6.2	5.3	12.6	12.6
	2020年度	12.5	5.6	—	11.5	4.8	5.6	5.0	10.8	10.8
	2021年度	11.8	9.3	31.8	13.1	4.6	5.9	4.8	11.2	11.2
	2022年度	11.4	9.7	21.1	12.7	4.3	6.0	4.6	10.7	10.7
	2023年度	13.9	—	14.2	13.9	4.3	6.1	4.6	11.5	11.5
事業活動支出比率 ▼ 事業活動支出 経常収入	2019年度	106.4	141.1	—	114.6	103.6	94.4	101.9	112.6	109.7
	2020年度	103.8	121.9	—	106.4	108.1	90.7	104.9	108.6	105.6
	2021年度	94.1	115.2	148.3	99.7	102.4	90.1	100.2	102.1	99.9
	2022年度	95.3	230.4	112.1	98.7	103.9	89.2	101.4	101.5	99.4
	2023年度	102.1	—	95.0	100.5	107.5	94.0	105.3	104.3	102.4
学生生徒等納付金比率 ◇ 学生生徒等納付金 経常収入	2019年度	79.9	79.2	—	79.8	54.8	52.7	54.5	70.3	70.3
	2020年度	83.1	84.6	—	83.3	50.5	52.6	50.9	71.5	71.5
	2021年度	78.9	77.9	71.4	78.2	50.5	52.4	50.9	68.8	68.8
	2022年度	79.4	95.1	76.0	79.0	50.2	52.3	50.5	69.2	69.2
	2023年度	81.0	—	78.3	80.4	49.5	53.0	50.0	69.4	69.4
補助金比率 △ 補助金 事業活動収入	2019年度	10.7	9.5	—	10.4	38.1	39.4	38.3	19.9	20.5
	2020年度	11.3	10.3	—	11.1	40.4	41.7	40.6	21.1	21.7
	2021年度	11.5	12.7	10.0	11.4	40.8	41.9	41.0	21.1	21.6
	2022年度	14.7	0.0	16.5	14.9	40.0	45.2	40.9	23.3	23.8
	2023年度	12.6	—	13.0	12.7	43.5	44.4	43.7	23.5	23.9

(注) ・「項目」欄の △は 高い値が良いもの、▼は 低い値が良いもの、◇は 一概にどちらともいえないものを示す。

・「純計」は、「合計」から学内振替分を除いた場合の数値。